

＜ ベネッセグループ 企業哲学 ＞

bene「よく」+esse「生きる」
Benesse=
『よく生きる』

Benesse。それは、「志」をもって、夢や理想の実現に向けて
一歩一歩近づいていく、そのプロセスをも楽しむ生き方のこと

私たちは、一人ひとりの「よく生きる」を実現するために
人々の向上意欲と課題解決を生涯にわたって支援します

そして、お客さまや社会・地域から支持され
なくてはならない企業グループとして、いまと未来の社会に貢献します

※Benesseは、ラテン語のbene(良い、正しい)とesse(生きる)を一語にした造語です。

＜ ベネッセグループ パーパス ＞

誰もが一生、成長できる。
自分らしく生きられる世界へ。

ベネッセは目指し続けます。

志をもって、「人」に関わる社会課題に向き合い、
お客さまの「よく生きる」を
圧倒的にご支援できる企業であり続けるために

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役社長 CEO

こばやし ひとし
小林 仁



ベネッセグループは、1955年福武書店の創業に始まり、
国内教育、グローバル教育、介護・保育、生活といった分野で
人のライフステージに沿った事業を展開しています。その根
幹に共通してあるのは、1990年に発表した「Benesse(=
よく生きる)」の存在です。

夢や理想の実現に向かって歩み続けるお客さまに寄りそ
い、一人ひとりの成長や課題解決を生涯にわたって応援して
いくこと、それが「Benesse=よく生きる(well-being)」で
あり、ベネッセが時代を超えてずっと大切に、追求し続けて
きた不変の企業哲学です。

このベネッセの哲学に共感する社員が高い志を持ち、商品
サービスのご提供に取り組んでいます。

現在、我々が行う事業の周辺では、少子化、テクノロジーの
進化など社会的に大きな変化が続いています。このような中、
「Benesse=よく生きる」を実践し、お客さまに役立つ価値
を創造し続けるためには「我々は何のために事業活動をす
るのか(=パーパス)」という原点に立ち返り、社員一人ひとり
がお客さまと社会の変化を捉え、挑戦し続けることが重要
です。すべてのライフステージにおいて、「人」が持つ可能性を
信じ、この社会の大きな変化の中で、さまざまな方が人生の
節目を乗り越え、自分らしく豊かに生きられる世界の実現を
粘り強く追いつけていく。それが、ベネッセグループのパーパス
に込めた想いです。

ベネッセグループは、このパーパスを経営の軸として、お客
さまのニーズの変化や困りごとに向き合いながら、「人」に関
わる社会課題の解決に貢献してまいります。お子さまの学び

に対する意欲や自信を高め、未来に役立つ力を伸ばせる多様
な学びの支援。大学生・社会人が社会で自分らしく生き生き
と働ける、キャリアにつながる学びの支援。そして、高齢化が
急速に進む中での介護人材不足解消に向けた取り組みの
強化や介護DXの推進。これらの挑戦を加速させていきます。
そしてパーパスを中心に、「社会価値」「顧客価値」をこれまで
以上に大切に、「経済価値」とともに高めてまいります。

これまで培ったベネッセ独自の強みと社会が求める
ニーズが変わる部分にこそ、ベネッセのパーパス(存在意義)
はあります。今と未来の「よく生きる」社会の実現に向け、
我々はこれからも、事業を通じて社会課題に真摯に向き合い、
お客さまを圧倒的にご支援できる企業として、さらなる成長
を目指してまいります。

